

第13回前橋市地域公共交通再生協議会結果概要

■日時：令和4年6月6日（月）15:00～16:40

■場所：前橋市役所11階南会議室

■参加者

- 前橋市：副市長、未来創造部長（代理）、都市計画部長（代理）
- 公共交通事業者：東日本旅客鉄道(株)高崎支社総務部経営・財務戦略室 統括、上毛電気鉄道(株)取締役社長、一般社団法人群馬県バス協会乗合部会長、前橋地区タクシー協議会会長
- 道路管理者：国土交通省高崎河川国道事務所長、群馬県前橋土木事務所長、前橋市建設部長
- 警察：前橋警察署長（代理）、前橋東警察署長（代理）
- 住民代表：2名
- 学識経験者：前橋工科大学教授
- 国関係者：関東運輸局交通政策部交通企画課長（代理）、群馬運輸支局首席運輸企画専門官、
- 群馬県：県土整備部交通政策課長、県土整備部都市計画課長（代理）
- 商工・観光関係者：前橋商工会議所交通政策専門員会委員長 委員 20名
（事務局：前橋市交通政策課、都市計画課、市街地整備課）
- ※欠席委員：関東地方整備局建政部都市整備課長、前橋商工会議所副会頭 2名

■概要

1 開会

2 挨拶

3 自己紹介

4 議事 担当者より説明

（1）前橋市地域公共交通計画各施策の取組み状況について

【群馬県バス協会乗合部会長】

本町ライン等間隔運行に関しては、見た目でもわかると思うが、「市役所・合庁前」などで外から来る人も、待っていれば最長でも15分でバスが来る、バス停で利用者がある程度滞留した段階でバスが来ているので便利になったと思う。時間帯や事業者によってはバスの大きさが異なり、小さいバスだと乗り切っていないときも見受けられるが、15分待てば次のバスがくるという安心感があると思う。

【前橋工科大学教授】

かなり盛沢山の取組みの報告があり、良かったと思っているが、いくつか確認したい。①本町ラインが等間隔であるという時刻表はどこかに掲示されているか、ネットでは見たことがあるが、PRも含めて外から来た人にもわかりやすく案内してほしい。②前橋駅のバス乗り場が整備されるという話を聞

いていたがそれはなくなってしまったのか。③本町ラインに加えて立川町通りを運行する路線も都心幹線として位置づいていたが、どのような状況か。④デジタルサイネージについては駅にやっとなのでできるということによかったと思うが、「本町」のバス停に設置したらどうか。

【事務局】

①現状では、交通ポータルサイトで公開しているのと、前橋駅の1番のりばと5番のりばに2つの本町ライン全体の時刻表を紙媒体で掲示してある。さらなるPRを検討していきたい。②前橋駅ののりばに関してはバス事業者と協議しているところであり、朝の混雑時間帯の降車バス等に課題が生じている。いったんはサイネージで案内を図るが、乗り場整備についても継続して協議していきたい。③中央前橋ラインについては、新型コロナウイルスによる需要減少の状況をみている。今後、千代田町の再開発事業の進捗にあわせて検討して行きたいと考えている。④予算に限りはあるが、市としても「本町」を始め、6社が共有している停留所については、スマートバス停化していきたいと考えている。順次やっていきたいと考えている。

【群馬県バス協会乗合部会会長】

いまの磁気カードによるバスカードは平成13年から22年間共通バスカードとしてやってきたが、その代替として交通系ICをすべての事業者が導入することができた。磁気カードはなくなっていく方向でやっているが、今後敬老サービス等含め引き続き検討していきたい。

【前橋地区タクシー協議会会長】

MaaSに関して群馬県と前橋市両方でいろいろ検討していただいているが、そのあとにタクシーがどれだけ協力できるか。協力体制は前橋市内事業者は同じ方向を向いているため、協議しながらやっていきたい。

【住民代表】

仕事柄、日常的に県外へ移動することが多いが、昔は車→電車だったところが、今は100%バス→電車である。知人で群大病院に入院している県外者がわりといるが、問い合わせがあったときになかなか説明が難しかった。駅前の乗り場を整備してもらって、サイネージもやってもらえたら、だんだんそういう外の人への説明がしやすくなっていく。

自分は毎回会議に出席しているので、こういう風に変わってきた・変わっていくというのがわかるが、なかなかそうでない人のほうが多い。市民は、特に中高年以上は、自分から情報を取りに行くことはない。例えばバスのラッピングをしてみるとか、目に見える形で一人でも多くの人の目にとまる形で周知していったほしい。

また、バスカードが来年から使えなくなるというが、残金はどうしたらいいのか。さらに、毎回言っていて申し訳ないが、JRの前橋⇄高崎間の電車はどうにかならないか？昼間もう少し本数を増やしてもらいたい。せっかく駅までのバスが15分間隔になったのに、駅で待つようではもったいない。

【群馬県バス協会乗合部会長】

バスカードは払い戻しが可能。6社連名のものは前橋駅案内所で、各社のものはその購入事業者において手続きをお願いしたい。

【JR 東日本高崎支社】

コロナで利用状況がかなり悪いので、そういうのを見ながらダイヤを決めている。すぐに対応は難しいができる限り利用者の意見を取り入れていきたい。

【前橋工科大学教授】

いくつか意見するがバスはICカードが整備されてうれしいところだが、私鉄は使えない。例えば上信バスは使えるのに上信電鉄は使えないとか。ぜひ上毛電鉄にはICカードをいれていただきたいがかがが。

【上毛電気鉄道代表取締役社長】

当社としてももちろん導入できたらいいとは思っているところであるが、なかなかコストが捻出できない。イニシャルもだがランニングもかかる。導入費用が確保でき、チャンスがあれば、やっていきたいと思っている。

また、前橋市への要望となるが、シャトルバスについて、土日祝日にけやきウォークへ延伸しているが、行先表示は「けやきウォーク」としか書いていなくて、慣れている人にとっては当然前橋駅を通るとするのはわかるのだが、両駅を繋ぐ機能を担っていただいているため、「前橋駅経由」の表示をいただけると良いかと考える。

【前橋工科大学教授】

MaeMaaSについて、資料を見る限り登録者数は1000人ちょっとということであるが、まだまだ少ない。比較になるのかわからないが、nolbeの販売数が2カ月で2500枚というところと比べても少なすぎる。おそらく操作が難しいからなんだと思うが、同じようにスマートフォンを使うcogbeは5,000人を超える登録であり、どう考えるか。

【前橋市交通政策担当部長】

cogbeは会員登録しないと利用ができないが、MaeMaaSは登録なしでも使える機能がある。なので一概に比較は難しい。ただし基本的には指摘のとおり登録者数=アクティブユーザーになると思うので、なんとか改善していきたい。

【前橋工科大学教授】

計画に基づき様々な取り組みをしているところだが、タクシーに関する施策が少ないように見える。高齢者等に対して運賃補助をしているマイタクは知っているが、他に検討状況はいかがか。

【前橋地区タクシー協議会会長】

タクシー業界はコロナで大打撃を受けており、県内全体でみると3社ほど営業中止、廃業が起きている。前橋市内は各社みんな頑張っているが、非常に苦しく、会社の存続が危ぶまれているという状況。サービスどうこうというのもわかるが、現状そういう状況なので、まずは会社を続けていくところで

必死というのが実情である。

また、以前から人手不足というのは課題であったが、コロナの影響もあり辞めていくドライバーが大変多い。なんとか24時間体制を保っているがそのあたりも限界という印象。

【前橋工科大学教授】

そんな状況なのに申し上げにくい、ペイペイとかカード、全社使えるようにならないか。また、カード使えるといっても、運転手によってはやり方がよくわかっていなくて使えなかったりする。

【前橋地区タクシー協議会会長】

ペイペイはあまり普及していないがクレジットは8割使える状況にある。運転手教育も進めていく。

(2) 協議会会計令和3年度決算及び令和4年度予算(案)について

特に質問等なし 承認

(3) その他

事務局から以下2点説明

- ①バスマップ取り扱いの注意
- ②城南あおぞら号にかかるフィーダー系統計画書にかかる書面協議のお願い

5 閉会